

第13回市民タイムス杯少年サッカー新人戦

接戦 岡谷市東部に軍配



接戦を制し初優勝した岡谷市東部

▽決勝

岡谷市東部	1	0	0	延	10
開智	2	0	0	長	10

3PK 1開 10

【評】延長、PKの接戦は岡谷市東部に軍配が上った。先制を許した岡谷市東部は後半9分、小野純弥がFKから直接シュート。こぼれ球を増

沢直樹が落ち着いて詰り、同点とした。延長戦では疲れもあり、両チームともチャンスをつくれないうまま、PK戦に突入。岡谷は代わってGKに入った小野が三人を止め、勝利をもぎ取った。開智は後半開始直後、佐藤康洋がこぼれ球を押し込み先制ゴールを決めたが、運動量で上回る岡谷市東部に対し、主導権を握れなかった。



荒崎健二岡谷市東部監督の話 苦しい大会だった。ここで負けられないという気持ちで上回れたのでは。
増田昌史開智監督の話 決勝は組み立てができた。運動量で負けた。でも選手はよくやった。
徳永和也開智主将の話 勝てると思ったけれど、後半半になってしまった。体力をつけ直したい。

○：岡谷市東部は決勝、準決勝を含め6試合中3試合をPKで制し、初優勝をもちこた。荒崎健二監督「3試合PK、精神面で勝てた」と喜んだ。健闘した開智は悔しい敗戦だが、涙はなかつた。気持ちも体力もまだまた、選手たちは「苦しかった」
岡谷市東部「負ける気はしなかった」「アタフィニ(五年生奥大会)で準優勝しているし、負けられないと気持ちを入れた。精神面で

○：朝日との接戦を制した芝沢。試合後、乾燥監督「全員の臨んだが、開智もつに強くなってきたが、中盤のつながりがな

初めの4強進出 敗戦から学ぶ

芝沢

開志あふれるプレーを見せる選手たち(鎌田茅野市玉川)



準優勝した開智

開智 笑顔で再起誓う

芝沢、鎌田に

ゴール前で体を張ってプレーする選手(芝沢朝日)

△あすき運動公園
▽準々決勝

岡谷市東部	2	0	0	須坂
開智	2	0	0	茅野市
芝沢	1	0	0	朝日
鎌田	1	0	0	上田
芝沢	1	0	0	エンシ
開智	3	1	0	芝
芝沢	2	1	0	田



3位の芝沢



3位の鎌田